

“光の天才画家”の代表作に迫るラピスラズリの輝き。

ヨハネス・フェルメール

— 青いターバンの少女 —

『真珠の耳飾りの少女』

フェルメールが打ち立てた西洋絵画の金字塔。
ゴッホやダリも絶賛した傑作を永遠にご自身のものとなさってください。



作品仕様 ■制作：大塚巧藝新社 ■技法：P・Xジークレー、岩絵具手彩色（天然ラピスラズリ）、メデュムタッチ加工 ■画面：油彩用布地キャンパス ■画寸：縦41.3×横36.3cm ■額寸：縦59.3×横54.6cm ■額装：金箔調仕上げ樹脂製 ■500部限定 証紙にエディションナンバー入り ■今日頒布は限定30

透明感に心奪われる「フェルメールブルー」
原画同様、天然ラピスラズリを惜しげもなく使用して手彩色



絵画の世界に革命を起こした「フェルメールブルー」。『真珠の耳飾りの少女』には、当時、純金と同じほど高価だった「ラピスラズリ」が用いられています。古代エジプトでは神に捧げられ、王族のみに所有が許された神秘的宝石。これをフェルメールは惜しげもなく何度も砕き、理想が実現するまで、究極の青を追求したと伝えられます。今回ご紹介する復刻作はこの点にこだわり、原画と同じくターバンを天然ラピスラズリで一点一点、彩色し、『北欧のモナリザ』の美しさを表現しました。

最新技術と熟練絵師の技で復刻

■ふと振り返った視線の先には何があるのか。奥深い物語性を感じさせる歴史的傑作は想像力をかき立てて止みません。『真珠の耳飾りの少女』はオランダ17世紀の画家、ヨハネス・フェルメールが43年の短い生涯に遺した最も有名な作品。光の天才画家が生み出す世界は、かのゴッホやダリも最大級の賛辞を贈ったほど。この度はオランダ王家のコレクションで名高いマウリッツハイス美術館が所蔵する至宝を復刻しました。
■本作は90年以上にわたり、美術館や寺院が所蔵する美術作品の修復や複製を手掛ける大塚巧藝新社の巧藝技術により実現しました。左上方から差し込む透明な光、瞳のきらめきは原画に迫るもの。何より目を奪われるのはターバンのブルーです。これはフェルメールの手法同様、熟練の絵師が手作業で



名画を引き立てる金箔調の豪華額装

天然ラピスラズリを彩色した賜物です。

■美術館で見た感動を心ゆくまで堪能いただける目にも鮮やかな復刻画。12年ぶり3回目の来日を果たす、いま一番注目されている名画を永遠にご自身のものとなさってください。限定30。

奥付けには500部限定であることを証明するエディションナンバー入り

フェルメール研究の第一人者、小林頼子氏の推薦の言葉

フェルメールは裕福な市民階級の女性を描いた17世紀のオランダの風俗画家である。明澄な北欧の光の射しこむ部屋、その窓辺で独り日々の営みに心奪われる彼女たち。地塗りに彩色に至る慎重な絵具の塗り重ね、考え抜かれた構図が静謐感と完成度を高める。じっくり丁寧に制作する寡作の画家を思わせる。実際、現存作品も三十数点しかない。

真珠の首飾りの少女はその現存作品の中でも圧倒的な人気を誇る。見る者を捉えて放さない大きな目、光を放つ真珠の耳飾り。それでいて他者を意識しない半開きの唇、はみ出した口紅。少女は外と内の世界の境目にいる。肖像画でも風俗画でもない匿名の少女に相応しい秀抜のモチーフ処理である。

今回は、フェルメールの青の魅力を際立たせる顔料、ラピスラズリを熟練の絵師が手彩色で施したという。マウリッツハイス美術館所蔵の原画を偲ばせるに十分な風格を備えた、心躍る復刻の試みである。

小林頼子 略歴

フェルメール研究の第一人者。2000年に『フェルメール論』『フェルメールの世界』で、音楽・演劇・美術などの分野において、優れた芸術論評を発表した人に贈られる吉田秀和賞を受賞。目白大学教授。

■頒布価格(税込) (実質年率13.67%)

月々7,153円×12回 一括79,800円

■お申込み方法

ハガキか、電話またはFAXで、お申し込みください。

※他のフェルメール作品もお気軽に
お問い合わせください。

お届けは約3週間後で送料は一点につき630円(税込)。一括払は代金引換もしくは現品到着後10日以内の振込、分割払は口座からの自動引落し。現品到着後8日以内なら現物なし限り、送料自己負担でご返品可。当社基準により、ご希望のお支払い方法にそいかなる場合がございます。

郵便はがき 切手 〒140-8536 東京書芸館	①「真珠の耳飾りの少女」 ②〒住所 ③氏名(フリガナ) ④生年月日(年齢) ⑤電話番号 ⑥支払方法 (一括/分割) ⑦日刊工業係
-----------------------------------	---

芸術と文化の殿堂——90年の伝統
東京書芸館

〒140-8536 東京都品川区南大井3-28-3

フリーダイヤル ☎ 0120-807-577 FAX (24時間受付) 03-3762-7609

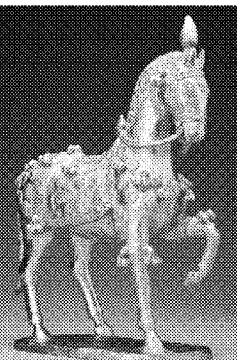
■ホームページにてカラーでご覧いただけます

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/shogeikan/>



富永直樹 略歴

大正二年長崎市に生まれる。昭和八年東京美術学校現東京芸術大学彫刻科造形部入学。昭和二十五年第六回日展「真珠の耳飾り」特選受賞(以後二年連続受賞)。昭和四十四年第一回日展「真珠の耳飾り」文部大臣賞受賞。昭和五十九年日本芸術院賞。昭和五十九年文化功労者表彰。平成元年文化勲章受賞。平成十二年カンタカ制作。平成十八年四月、逝去。



凛々しい駿馬の風格を、強靱な造形力で見事に表現。

■「カンタカ」が高らかな蹄の音をたてて、出家を促しました。我にかえったお釈迦様は、ついに、出家の一大決心をされました。「カンタカ」像に代わって、お釈迦様は出家せず、仏教も存続しています。

■台座は黒御影石台座と木製台座。木製台座、桐箱入り。限定10。

■まばゆい黄金に輝く、神秘的なまでの風格の馬です。左の前脚を高く蹴り上げ、しつかりと前方を見つめています。自己の使命を心得ているかのような聡明なまなざし。均整のとれた美しい造形。豪華な鞍や手綱は、王家の印。この馬の名前は、「カンタカ」です。

■お釈迦様は二十九歳のときに出家を決意されましたが、愛する妻子との別れに決意が揺らいでいました。そのとき、愛馬「カンタカ」が高らかな蹄の音をたてて、出家を促しました。我にかえったお釈迦様は、ついに、出家の一大決心をされました。「カンタカ」像に代わって、お釈迦様は出家せず、仏教も存続しています。

■作者は日本の彫刻界の重鎮・富永直樹氏。文化勲章受賞者にして、日本芸術院賞でもある富永氏の作品は、量産豊かな造形力と深い精神性で知られています。かつてインドの旅で、数百年前に作られた「カンタカ」像に出会い、その感動をもとに制作したのが本作品。富永氏ならではの力強い表現力により、颯爽とした名馬の姿が、躍動感あふれるブロンズ像として仕上がり、金箔仕上げの黒御影石台座と木製台座つき。桐箱入り。



※写真は縮小されています。本体寸法(約)高さ34×幅28×奥行18cm。台座は黒御影石台座と木製台座つき。

黄金に輝く馬とお釈迦様
仏教のすべてが、
ここから始まりました。
カンタカ。お釈迦様の迷いを断ち切った聡明な駿馬。

文化勲章受賞、日本芸術院会員による傑作
とみながな
富永直樹
本金箔
カンタカ

お釈迦様を出家に導いた愛馬カンタカ。日本彫刻界を代表する重鎮・富永直樹氏が、お釈迦様の出家の瞬間に思いをはせ、真理への「不退転の決意」を託して作り上げた崇高なるブロンズ像の名作です。

■頒布価格(税込) (実質年率13.67%)
月々7,153円×12回 一括79,800円
■お申込み方法
ハガキか電話またはFAXで、お申し込みください。
①「カンタカ」
②〒住所
③氏名(フリガナ)
④生年月日
⑤電話番号
⑥支払方法
(一括/分割)
⑦日刊工業係

■お申込み方法
ハガキか電話またはFAXで、お申し込みください。
①「カンタカ」
②〒住所
③氏名(フリガナ)
④生年月日
⑤電話番号
⑥支払方法
(一括/分割)
⑦日刊工業係

ホームページ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/shogeikan/>